

社会資本総合整備計画 社会資本整備総合交付金

令和02年12月21日

計画の名称	広陵町における普及促進及び改築更新（第3次）												
計画の期間	令和03年度～令和07年度（5年間）								重点配分対象の該当				
交付対象	広陵町												
計画の目標	広陵町において快適で活力ある暮らしの実現のため、下水道管路の普及促進を図る。												
全体事業費（百万円）	合計（A+B+C+D）	335	A	335	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合 C / (A+B+C+D)	0	%

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
		R3当初	R5 未	R7未
1	下水道処理人口普及率を98.4%から99.0%に向上させる。			
	下水道処理人口普及率	98%	98%	99%
	下水道を利用できる人口（人）/総人口（人）			

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靱化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-
-----	-----------	---	----------	---	----------	---	------------	---	------------	---	-----------	---

A 基幹事業

基幹事業(大)	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
												R03	R04	R05	R06	R07			
一体的に実施することにより期待される効果																			
備考																			
下水道事業	A07-001	下水道	一般	広陵町	直接	広陵町	管渠(汚水)	新設	葛城川第14処理分区(未普及対策)	管路整備 0m	200 L=20	広陵町					20	-	
	A07-002	下水道	一般	広陵町	直接	広陵町	管渠(汚水)	新設	葛城川第15処理分区(未普及対策)	管路整備 0m	200 L=20	広陵町					20	-	
	A07-003	下水道	一般	広陵町	直接	広陵町	管渠(汚水)	新設	葛城川第17処理分区(未普及対策)	管路整備 0m	200 L=20	広陵町					43	-	
	A07-004	下水道	一般	広陵町	直接	広陵町	管渠(汚水)	新設	葛城川第22処理分区(未普及対策)	管路整備 0m	200 L=50	広陵町					100	-	
	A07-005	下水道	一般	広陵町	直接	広陵町	管渠(汚水)	新設	高田川第8処理分区(未普及対策)	管路整備 00km	200等 L=7	広陵町					152	-	
												小計					335		
												合計					335		

交付金の執行状況

(単位：百万円)

	R03	R04	R05	R06	
配分額 (a)	50	5	23	6	
計画別流用増 減額 (b)	0	3	0	0	
交付額 (c=a+b)	50	8	23	6	
前年度からの繰越額 (d)	0	25	4	12	
支払済額 (e)	25	29	15	17	
翌年度繰越額 (f)	25	4	12	1	
うち未契約繰越額 (g)	18	0	8	1	
不用額 (h = c+d-e-f)	0	0	0	0	
未契約繰越率+不用率 (i = (g+h)/(c+d))%	36	0	29.62	5.55	
未契約繰越率+不用率が10%を超えている場合その理由	地元自治会との調整に不測の日数を要したため		着工前に、既設水道管が下水道工事の支障となることが判明し、調整に不測の日数を要したため		

事前評価チェックシート

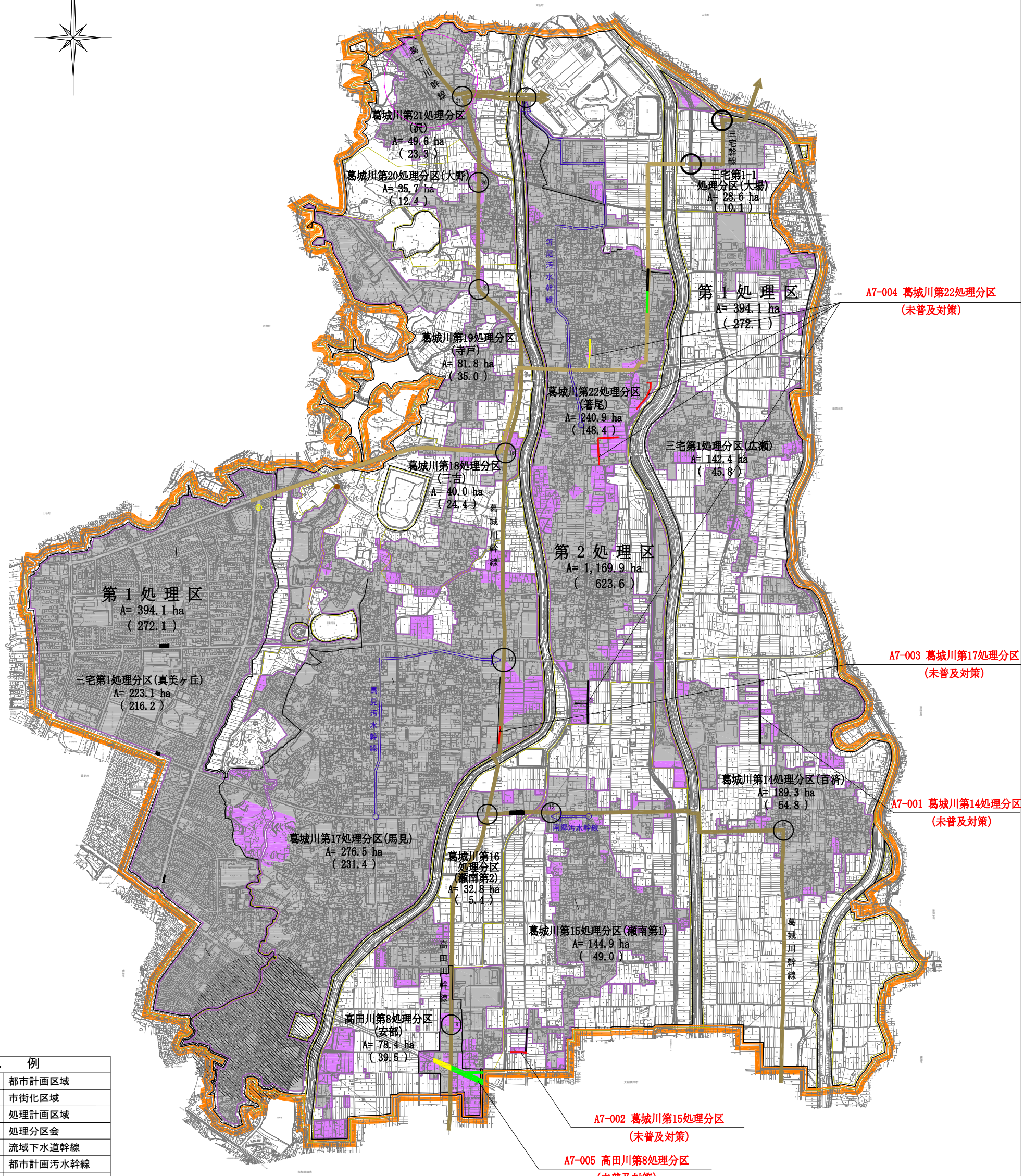
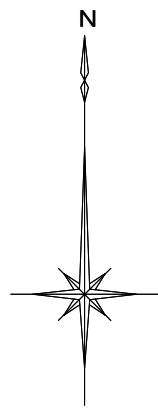
計画の名称： 広陵町における普及促進及び改築更新（第3次）

事前評価	チェック欄
I. 目標の妥当性 上位計画との整合性	
I. 目標の妥当性 1) 都道府県構想（見直し予定を含む）と適合している。	○
I. 目標の妥当性 2) 上位計画等と整合性が確保されている。	○
I. 目標の妥当性 地域の課題への対応	
I. 目標の妥当性 1) 地域の課題を踏まえて事業計画の目標が設定されている。	○
I. 目標の妥当性 2) 快適で活力ある暮らしの実現という観点から地区の位置づけが高い。	○
II. 計画の効果・効率性 整備計画の目標と定量的指標の整合性	
II. 計画の効果・効率性 1) 目標と指標・数値目標の整合性が確保されている。	○
II. 計画の効果・効率性 定量的指標の明瞭性	
II. 計画の効果・効率性 1) 指標・数値目標が住民にとって分かりやすいものとなっている。	○
II. 計画の効果・効率性 目標と事業内容の整合性等	
II. 計画の効果・効率性 1) 指標・数値目標と事業内容の整合性が確保されている。	○
II. 計画の効果・効率性 2) 目標及び事業内容と計画区域との整合性が確保されている。	○
II. 計画の効果・効率性 事業の効果の見込みの妥当性	
II. 計画の効果・効率性 1) 十分な事業効果を得られることが確認されている。	○

事前評価	チェック欄
II. 計画の効果・効率性 2) 効果促進事業の連携による相乗効果・波及効果が得られるものとなっている。	○
III. 計画の実現可能性 円滑な事業執行の環境	
III. 計画の実現可能性 1) 計画の具体性など、事業お塾度が高い。	○
III. 計画の実現可能性 2) 計画について住民等との間で合意が形成されている。	○
III. 計画の実現可能性 地元の機運	
III. 計画の実現可能性 1) 快適で活力ある暮らしの実現に向けた機運がある。	○
III. 計画の実現可能性 2) 継続的な公衆衛生の向上と生活環境の改善が見込まれる。	○

(参考様式2) 参考図面 (社会資本整備総合交付金)

計画の名称	広陵町における普及促進及び改築更新 (第3次)		
計画の期間	令和3年度～令和7年度 (5年間)	交付対象	広陵町



凡 例	
	都市計画区域
	市街化区域
	処理計画区域
	処理分区会
	流域下水道幹線
	都市計画污水幹線
	認可区域
	供用開始区域
	R3年度以前施工済み
	R4年度施工済み
	R5年度施工
	R6年度施工予定
	R7年度以降施工予定

1 : 10,000

